



令和4年8月1日発行
第67号

ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■
■編集／広報常任委員会■

●長和町議会 令和4年6月定例会

◇町長提案理由の説明	2
◇審議結果	3
◇常任委員会審査報告	4
◇議会全員協議会	6
◇一般質問	8
◇一部事務組合議会報告	17
◇議会研修会／委員会視察	18
◇長和町「あの人を訪ねて」	20

★夏：「不動滝」(大門)★
(19ページに写真の説明を掲載しています。)

6月議会

長和町議会 令和4年6月第2回定例会が、長和町役場議場に於いて、5月31日(火)から6月14日(火)までの15日間の会期で開かれ、報告6件、承認案9件、条例案1件、令和4年度補正予算案2件、意見書案1件、指定管理者の指定について1件、財産の取得について1件の審議を行いました。また、議長と監査委員を除いた8人の議員全員が一般質問を行いました。

町長提案理由の説明

梅雨や台風の季節に向け、降雨状況を見直し、感染防止対策に対応します



4回目のワクチン接種に向け準備を進めています

新型コロナウイルス感染症は第6波といわれている流行が未だに続いており、新たな変異株の発生情報など日々状況が推移しておりますが、明るいニュースとしましては、この23日に、長野県が発出しております医療警報が解除され、併せて感染警戒レベルの見直しが行われ、レベル5から

レベル3に、さらに昨日から上田地域はレベル2に切り替えられました。

長和町でも、3回目の集団ワクチン接種が終了しておりますが、5月18日には感染者累計が70人を超え、6月下旬からは3回目接種から5か月を経過された60歳以上の町民、及び18歳以上の基礎疾患をお持ちの皆さんを対象とした4回目の接種に向け、現在準備を進めているところであります。

町としましては、各関係機関と情報を共有し対応に当たっておりますが、皆様方には、基本的な感染防止対策を徹底した感染防止の行動と人権への配慮に引き

続きご協力をお願い致します。

役場の係体制を一部変更し、強化しました

この4月から、役場の一部の係体制について、組織変更を実施しました。

産業振興課では、農政係と特産品開発係を統合し、新たな農政係としました。これまでの農政係と特産品開発係の業務は密接に関連しており、町の農業振興及び特産品開発関係施策を強化するための対応であります。

また、町民福祉課では、良好な景観を守り、より主体的な景観づくりを推進するため、さらには今後、町内での太陽光発電施設の建設が増えることによる景観が損なわれる懸念が増していることから、景観行政団体への移行を目的として生活環境係に景観担当を設置しました。

古町コミュニティ施設が8月10日完成します

議案第38号「長和町地域共生社会実現のためのコミュニティ施設設置条例の制定について」は、8月に古町地区で開館を予定しているコミュニティ施設の新設条例を制定するものです。埋蔵文化財の発掘調査により工期が延びておりました古町コミュニティ施設の建設については、現在外壁工事がほぼ終わり、内装工事が始まるところであります。予定どおり7月末完成の見込みで、工期は8月10日です。

古町コミュニティ施設は共生社会の実現に向け、地域住民の皆様をはじめ、あらゆる方にご利用いただける施設として、また、緊急時には迅速かつ適切な避難所として機能できるように整備してまいりますので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。(抜粋)

令和4年6月 第2回定例会 審議結果

令和4年6月長和町議会第2回定例会において審議された議案は、すべて全員賛成で、承認・可決されました。以下に、審議された議案とその主な内容を、抜粋して掲載します。

◇ 報告（6件）

・議員派遣結果報告

★ 令和3年度町村議会広報クリニック。4月19日（火）長和町役場会議室において、議会活動に対する住民の関心と理解を深めるため、議会広報の充実を目的として、動画配信により開催した。

・令和3年度長和町土地開発公社事業会計決算について

★ 残土地は細尾団地3区画と立岩落合住宅団地1区画。立岩団地は、隣接地を購入し2区画に整備。資産は、現金及び預金 46,353,833円、完成土地等 24,019,279円。

◇ 承認案（9件）

・専決処分した令和4年度長和町一般会計補正予算（第1号）について

➡ 6ページに、5月13日（金）に開催された議会全員協議会での質疑等を掲載しました。

◇ 条例案（1件）

・長和町地域共生社会実現のためのコミュニティ施設設置条例の制定について

➡ 4ページに、社会文教常任委員会での審査内容を抜粋して掲載しました。

◇ 補正予算案（2件）

・令和4年度長和町一般会計補正予算（第2号）について

➡ 4～5ページに、常任委員会での審査内容を抜粋して掲載しました。

・令和4年度長和町一般会計補正予算（第3号）について

★ 既定の歳入歳出に317万4千円を追加し、予算総額を64億2,918万3千円とする。
寄付金80万円を国際交流事業基金へ積み立て、子育て世帯生活支援特別給付金給付事290万円などを追加する。

◇ 意見書案（1件）

・急激な物価高騰への迅速な対応を求める意見書

★ 議員発議により、新型コロナウイルス感染症の影響とロシアによるウクライナ侵攻などによる物価高の急速な進行に対し、政府の迅速な対応を求める意見書を可決。

➡ 7ページに意見書全文を掲載しました。

◇ 指定管理者の指定について（1件）

・指定管理者の指定について（長和町古町コミュニティセンター）

★ 8月完成の古町コミュニティセンターについて、隣接して整備した山の子学園を運営する「社会福祉法人 樅の木福祉会」に対し、指定管理者の指定をする。期間は令和4年9月から9年3月まで。

◇ 財産の取得について（1件）

・財産の取得について（ながと保育園の園児送迎用マイクロバス2台） ★ 契約金額は 24,596,660円。

令和4年6月 第2回臨時会 審議結果

令和4年6月16日（木）に、長和町議会第2回臨時会が開催されました。審議された議案はすべて全員賛成で、可決されました。以下に、審議された議案とその主な内容を掲載します。

◇ 財産の取得について（2件） ➡ 7ページに関係する内容を記載。

・財産の取得について（長和町振興公社の構築物・建物・備品購入事業） ★ 契約金額は1億円。

・財産の取得について（長和町振興公社の棚卸品購入） ★ 契約金額は 10,646,931円。

社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

社会文教常任委員会

委員長／田福 光規
副委員長／荻野 友一
委員／阿部 由紀子
羽田 公夫
森田 公明

社会文教常任委員会は、6月9日(木)に開催され、令和4年度補正予算案1件、条例案1件について審査が行われ、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。

長和町地域共生社会実現のための「コミュニティ施設設置条例」の制定について

■ 古町公民館を建て替えて設置する古町コミュニティ施設、名称

や開館時間、休館日など運営に関する決まりを定める。

■ 指定管理で運営するが、災害時等の避難所として使用する時の指示や責任体制はどうなるか。

■ 町が災害時等に避難指示を出して避難所として開設する。この場合、町の職員が常駐して運営するので指定管理者には必要に応じて支援頂く形になる。

■ 災害時の障がい者支援施設の利用については協定などを締結する予定か。緊急時における対応なので、支障なく受入れができる体制

をお願いしたい。

■ 指定管理の仕様の中にそのような内容も入れている。また、必要に応じて災害協定も検討する。

■ 使用料の減額・免除の判断は、指定管理者が行うのか。

■ 基本的に町民の方が利用する時は全額免除という判断である。

■ 指定管理の目的は町民の利便性を向上することにあるのに、コミュニティカフェの営業時間は平日の昼間4時間の予定で、非常に短い。これは町としての基本的方針か。

■ 指定管理先の承認を受けた段階で、カフェの営業時間についても打合せを進める。

■ 料金設定について、町の他の集会施設や行政施設と今後統一していく考えか。

■ 他の集会施設や行政施設等との料金統一は今考えていない。

■ 和田コミュニティセンターや体育施設などで、町民が申請して使用料の減免を受け町外者が使用しているという事例がある。このような場合の対応は。

■ 体育施設を含め、そのような事例があったことは把握している。使用者にきちんと説明するなど対応策を考える



完成間近の古町コミュニティセンター

していく必要があると認識している。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第2号)について

既定の予算総額に4億1974万6千円を追加し、予算総額を64億2600万9千円とする。

■ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業予算の組み替え。

■ 新型コロナウイルス接種の4回目以降の見通しは。また、国の負担は無くなっていくと思うか。

■ 国から接種に関する方向性は示されていないが、ワクチン接種は今後縮小されていくと思う。いずれはインフルエンザワクチンのように希望する方が自己負担で接種するようになっていくと思う。

■ 教育費・建物修繕費で、和中小学校長住宅の電気温水器入替55万円の増額。

■ 今後、教員住宅について、機器の故障や

修理は想定されるか。

■ 建物が古くなり、それに伴う設備の故障のため修理が必要となってきた。今後も対応しなければならぬと考える。

■ 古町コミュニティ施設整備事業で工事請負費の残264万円を備品購入費に振り替え。

■ コミュニティ施設と山の子学園を結ぶ回廊こまちの道に設置する備品購入は、金額的に大丈夫なのか。

■ 当初予算でも、こまちの道用の備品購入は計上している。より耐久性に優れた製品導入のために増額するものである。(抜粋)

総務経済常任委員会審査報告



原田恵召 委員長

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召
副委員長／佐藤 恵一
委員／龍野 一幸
小川 純夫
渡辺 久人

総務経済常任委員会は、6月9日(木)に開催され、令和4年度補正予算案1件について審査が行われました。予算案は、全員賛成により可決すべきものと決定されました。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第2号)について

既定の予算総額に4億1974万6千円を追加し、予算総額を64億2600万9千円とする。

■ ブランシュたかやまスキー場施設等修繕工事1100万円の増。
財源は電車売却収入から800万円と、(株)マウント長和からの繰入金300万円。

問

ブランシュたかやま

スキー場施設修繕の歳入に、(株)マウント長和からの施設使用料があるが、年間の総額はいくらになるのか。一般財源からの持ち出しはないとするが、それを履行するためにも明示してほしい。

答

今回の補正予算のほか、令和4年度当初予算において、土地使用料・スキー場修繕・和紙の里の修繕・公債費

の起債償還分として約3300万円を計上している。

問 電車を処分した後の修繕工事で、障がい者のチェアスキー等の導線の確保をお願いしたいが、どうか。

答 工事内容については(株)マウント長和との調整があるので、障がい者の導線の配慮について要望する。

問

約38億でスタートした10年計画について今年3月の説明では約39億になった。今予算では電車を処分することによる修繕工事が突如提案されているが、今後大丈夫なのか。

答 当初予算で、改修工

事費として2億2千万円、夏季の修繕工事費として2090万円をそれぞれ計上した。財源は、起債、国庫補助、マウント長和からの施設使用料を見込んでいます。

問 今回は電車を無料休憩所として利用していたことから、休憩所の設置や事務所移転等が必要となり、生じた修繕費用である。この事業は突発的であり、長期計画には入っていない。長期計画に沿っていくが、その都度、毎年見直しをする。

問

国庫補助金が得られる見込みは。

答 令和4年度国際競争力の高いスノーリゾート形成事業は、当初3月の終わりか4月の初め頃に補助金の申請を開始するとありましたが、実際には遅れてお

り、最近、観光庁から示された。この6月14日が申請期限となっており、申請書を提出する。

問 スキー場の電車は、いつ、誰が、いくらで購入したのか。また、町が振興公社から買入れる金額は。

答 平成27年10月、約500万円で、中古品として振興公社が購入し

たもので、町が買入れる1億円の資産の中に含まれる。町が買入れた後に売却するので、町の収入となる。

問 長期計画では、大型宿泊施設の計画が4年後にあるが、前倒しで様々な調査が必要だと思いが、そのような計画はあるか。

答 大型宿泊施設に関しては、ペンション事業者や地域の皆様からご意見を頂きながら計画を進めたいと考えている。調査については現状計画していないが、その必要性も考えられるので(株)マウント長和と協議する。(抜粋)



ブランシュたかやまスキー場にあったJR電車

議会全員協議

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について」、「(株)長和町振興公社と(株)マウント長和について」などについて協議しました。

■議会全員協議会は、町政に関する重要案件や議会の事項について報告・協議するために、必要に応じて開催されます。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第1号)について

既定の予算総額に8626万3千円を追加し、予算総額を60億626万3千円とする。

6月議会に上程された承認案「専決処分された令和4年度長和町一般会計補正予算(第1号)」については、5月13日(水)に議会全員協議会を開催して協議を行いました。議案と質疑の内容を抜粋してお知らせします。

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について

令和3年12月に国の交付決定があった臨時交付金について、交付限度額の残額8442万4千円を活用し事業を実施するもの。この交付金は、町の令和4年度

その分の支援になる。

■長和町振興公社経営支援事業Ⅱ感染症の影響で収入が低迷している2つの温泉施設の事業継続を支援2000万円

振興公社への支援金は当初予算において町で予定していたものと別のものか。

■当初予算とは異なるもので、今回の新型コロナウイルスの交付金に合わせて追加で支援をするものである。

■どのくらい入館者数が減少したのか。

■人数は不明だが、新型コロナウイルス蔓延前の売上とここ1年間の売上を比べると、温泉2施設だけで4600万円ほど落ちている。

■防災施設Wi-Fi構築事業Ⅱ主な避難所と消防団詰所

計12カ所に整備する600万円

■緊急時においても対応できるWi-Fiか。

■災害時に使えないと困るので、業者としっかり仕様を詰める。

■新型コロナウイルス感染症感染拡大防止緊急対策事業Ⅱ長和町への帰省を希望する方向けの抗原検査キットの購入、消毒液等の衛生用品の購入600万円

■検査キットについて、

3月議会では、製造業者に在庫がなく対応できないという答弁だったが、解消されたのか。また、キットはいくら購入する予定か。

■発注後でないと正確なところは不明だが、しつ

かりと確認しながら発注していく。数については必要数を確保するよう進めている。

■今年の夏は、帰省客もコロナ前と変わらない数になると思われるが、対応数は大丈夫か。

■今年の状況は、第5波と比べて感染者数は多いが、重症化率は低くなっていくと言われている。町としては、帰省客だけでなく町民についても使えるようにしたいと考えている。この事業で足りなければ、予算をつけて対応したい。(抜粋)



抗原検査キット

令和4年度長和町一般会計補正予算(第2号)及び(第3号)について

プランシユたかやまスキー場「公設民営」化に伴い、(株)長和町振興公社の資産等を町と(株)マウント長和へ

(1) 町が振興公社に貸し付けている9500万円について、公社は7月5日までに返済し、町は長和町振興公社基金に積み立てる。合計で1億円の基金となる。

(2) ブランシユたかやまスキー場とふるさとセンターの資産は、合計約1億3500万円となる。この資産を町は税込1億円で買い取る。財源は、長和町振興公社基金1億円を充てる。

(3) 簿価計上していない棚卸資産、貯藏品・消耗品等について、合計約1千万円ある。これを振興公社から町が買い取り、同額で(株)マウント長和に売り払う。

(4) 長和町姫木平自然の家

について、八王子市より入金された解体費等2億円を基金に積み立てる。また、施設に関わる土地使用料については、大門財産区と町とで契約を締結し、町は土地使用料の10万円を(株)マウント長和から徴収し、大門財産区に支出する、など。

問 スキー場の事務所や休憩所の修繕費1100万円とあるが、内訳は。

答 休憩所にしていた電車が無くなることによる影響で、パンプキンに無料休憩施設を設置しなければならぬ。この改修費に1100万円かかる。

問 積み立てる基金名は。

答 2億円の解体費相当分は、長和町公共施設整備基金に積み立てる。

(抜粋)

急激な物価高騰への迅速な対応を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の世界規模の蔓延の影響は、日本経済の長期低迷に、さらなる追い打ちをかけ、多くの国民に大きな影響が出ています。

コロナ危機による景気の低迷、生活の困難が長期におよんでいるところに加え、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により現在、日本国内においては、ガソリン、食料品、電気料金をはじめとして、これまで経験したことがないような物価の高騰が、おそいばかり、国民のくらしと事業は深刻な打撃を受けています。

総務省が5月20日発表した4月の消費者物価指数(2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が101.4となり、前年同月比2.1%上昇し、消費増税の影響があった15年3月(2.2%)以来、7年1カ月ぶりに2%を超えました。資源高で電気代やガソリン価格などエネルギー関連が大きく上昇し、原材料高により食料品や生活用品も値上がりしました。この影響で、ことに低所得者層では生活がひっ迫し、全国各地から悲鳴が上がっています。これに対し、国は、特別給付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付

金など生活支援策を講じてきておりますがさらなる速やかな対応が求められるところであります。

このような状況下、広く国民が負担する消費税は、庶民の購買意欲に影響を及ぼすだけでなく、低所得者ほど負担が重くなるため、貧困と格差拡大の助長にもつながることがいわれ、世界では、コロナ禍の下、国民の生活を守り、経済を回復させるために、84の国が日本の消費税に相当する付加価値税の減税を行っています。

日本においても消費税減税を含む物価高騰への迅速な対応を国が決断することで、新型コロナウイルスの収束後も、生活必需品などの消費税負担が軽減されることにより、国民の購買力を高める景気策となるものと考えます。

いままぐ対策を打たなければ、国民生活に多大な打撃をあたえらるとともに、飲食業や製造業を始め、さまざまな業種で廃業、倒産を招き、地域の雇用が失われてしまします。

私たちは、コロナ禍と急激な物価高騰による住民のくらしと営業の危機打開のため消費税の引き下げを含め、物価高騰への具体的対策の強化を早急に行うことを強く求めます。

1, 田福 光規 議員 …………… P.9

- (1) 気候危機打開のための脱炭素に向けた当町の取り組みについて
- (2) コロナ禍に加え、急激な物価高騰から町民の暮らしと営業を守る取り組みについて

2, 原田 恵召 議員 …………… P.10

- (1) 少子高齢化問題について
- (2) 災害により消滅した農地の扱いについて

3, 阿部 由紀子 議員 …………… P.11

- (1) 旧和田中学校の今後について
- (2) 依田窪南部中学校の部活動について
- (3) 町の病後児保育の必要性について

4, 渡辺 久人 議員 …………… P.12

- (1) 「住民自治基本条例」の評価方法・結果と今後の対応は
- (2) 景観担当係の内容と関係条例について

5, 龍野 一幸 議員 …………… P.13

- (1) 町民が分かり易いインフォメーションについて
- (2) 長和町風クラインガルテンについて
- (3) 今後の役場職員の採用と定年延長について

6, 羽田 公夫 議員 …………… P.14

- (1) 安心・安全な町づくりについて
- (2) 町内施設の活用で、長和町の活性化につなげる

7, 荻野 友一 議員 …………… P.15

- (1) 町における GIGA スクールについて
- (2) 和田小学校で始まった複式学級について
- (3) 長和町温泉施設の活用について

8, 佐藤 恵一 議員 …………… P.16

- (1) 気候非常事態宣言&脱炭素型社会へ向けた町の取り組み
- (2) 「自治体が主体となる」再生可能エネルギーの地産地消の取り組み
- (3) 公共施設等の省エネの取り組み

質一般

8人の議員が 町政を問う！

6月定例会では、6月7日(火)8日(水)に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

気候危機打開のための脱炭素に向けた当町の取り組みについて

「気候非常事態宣言」「CO₂排出実質ゼロ表明」は

出来るだけ早い段階で行う

問 「気候危機打開のための脱炭素」に対する町長の考えは。

答 町長 世界各地で記録的な高温や大雨、大規模な干ばつなどの異常気象が頻発しており、世界気象機関はこれらの異常気象が長期的な地球温暖化の傾向と一致していると発表している。気候変動は地球上の人間社会の存在を脅かしており、この非常事態を座視すれば、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継ぐことはできないという強い危機感を抱かざるを得ない。

長和町は、2019年12月の長野県の「気候非常事態宣言」に賛同した。県内では、独自に「気候非常事

態宣言」「2050年CO₂排出実質ゼロ表明」を行っている自治体も多く、当町

も、長野県の宣言した「2050年CO₂排出実質ゼロ」の気候変動対策にも取り組んでいきたいと考えている。

問 県内12の自治体が「2050年CO₂排出実質ゼロ表明」を行い取り組みを進めているが、当町はまだ「表明」を行っていない。「気候非常事態宣言」「2050年CO₂排出実質ゼロ表明」を早急に行う必要があるか、いつ行う予定か。

答 町長 出来るだけ早い段階で、「宣言」と「ゼロ表明」を行い、その対策も検討し

なければならぬと考えている。

「地方公共団体実行計画」の策定はできる限り早急に取り組む

問 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定する「地方公共団体実行計画」とはどのような「計画」か。

答 町長 「地方公共団体実行計画」は、「事務事業編」と「区域施策編」があり、「事務事業編」は、地方公共団体の全ての事務事業を対象に温室効果ガスの排出量の削減等のための措置に関する計画で、策定することが義務付けられている。「区域施策編」は、区域の自然的社会的条件に応じて、温

が必要だと思うが、どのようにして、いつまでに策定する予定か。

答 町長 「地方公共団体実行計画」の「区域施策編」は努力義務であるが「事務事業編」は策定が義務付けられている。そのため「事務事業編」をできる限り早急に策定できるよう取り組んでいく。(抜粋)

問 「地方公共団体実行計画」を早急に策定すること

室効果ガスの排出量の削減等を行うための施策に関する事項を定める計画で、市町村は策定に努めることが求められている。



水沢水力発電所



原田 恵召
議員

少子化問題について

長和町の人口の推移は

2060年には2961人の見込み

問 合併後の長和町の人口推移はどうなっているのか。

答 企画財政課長 合併後の人口推移は、国勢調査ベースにおける調査実施年の10月1日現在の比較で、平成17年7304人、令和2年5600人となっている。合併後15年で1704人減少した。

問 今後の見通しはどうか。このまま減り続けると考えているか。

答 町長 平成27年に策定した「長和町人口ビジョン」は、国勢調査による人口をベースとし、必要に応じ住民基本台帳による人口やその他資料を用いて分析や推計を行ったものであるが、2060年には2961人

と分析・推計されている。

問 人口が合併時から半分になつたらどうなるのか。どこまで現行体制、料金で行けるか。上水道・下水道の使用料金は上がらないか。

答 建設水道課長 上水道、下水道共に、施設の維持管理費が支出の大半を占めており、施設の老朽化による修繕が今後増えていくことが予想される。現在、上水道では県主導による事業の広域化や共同化などコスト削減等を検討しており、当町にとつて何が有効なのかはこれからの検討になってくる。下水道事業では、上水道のような検討はまだ始まってはいないが、コスト削減については必要な課題

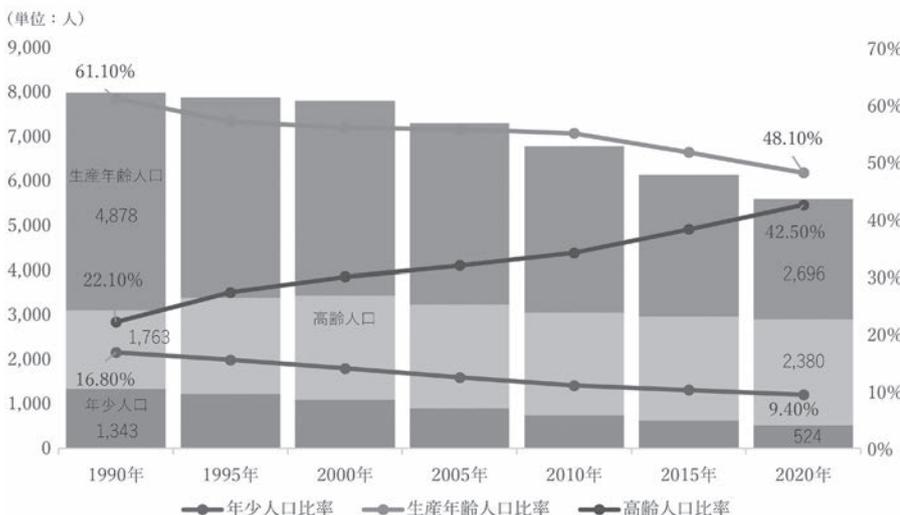
となつている。

問 介護保険料、国民健康保険料は上がらないか。

答 町民福祉課長 人口減少や少子高齢化による課題を抱える社会保障制度のひとつである介護保険料については、介護サービスを利用した方の「利用者負担（1割）」、40歳以上の被保険者が負担する「保険料」、国・県・町が負担する「公費」で運営されており、介護サービスに必要な給付額から「利用者負担金」を控除した保険給付費に対し、65歳以上の第1号被保険者の負担割合は23%と定められている。3年ごとに策定する介護保険事業計画において保険料改定の検討を行うが、

町では介護予防・重度化予防等に力を入れており、介護サービス給付費の抑制にも努めている。人口減少や少子高齢化の進行に伴い、社会保障制度の持続可能性の確保や世代間・世代内の不公平の是正による国の制度改正等によつては、「介護保険料」「国民健康保険料」に

影響してくることは否定できなないものと思う。（抜粋）



長和町 3階層別人口の推移 (1990年～2020年)



阿部 由紀子
議員

旧和田中学校の今後について

旧和田中を文化財登録するメリットは

公開活用事業に国庫補助が適応される

問 旧和田中学校を文化財登録することのだが、理由は何か。また、登録はいつ頃を予定しているのか。

答 町長 今後の利活用に向けて校舎を保存、維持していくためである。現在、秋季または冬季に文化庁へ申請を行えるように準備を進めている。

加えられなくなるなどのデメリットはないか。

答 文化財担当課長 指定文化財登録とは違い、規制が緩いのが登録有形文化財の特徴であり、「利活用しながら建物を維持する」ことを主眼としている。「屋根を変える、外壁を変える」といった現状変更では届出が必要となるが、規模が小さく、通常見える範囲の4分の1以下を変更する場合や内装などの改修は届出の必要はない。

問 平成31年に行われた校舎の利活用募集への応募は全部で28件あり、様々なアイデアが詰まっていた。これらの町民のアイデアを活かせるようにバックアップする

方法ははないのか。

答 町長 今年度に入り、アイデアだけでなく、実際に跡利用を行いたいといった事業者からの提案が数件ある。今後委員会を開催し、跡利用する者として適正かどうかしていきたい。

スポーツ庁の「部活動改革」に対して

休日の地域移行について協議を始めている

問 スポーツ庁から出ている「デポルターレ」というWEBマガジンの「部活動改革」という記事を見た。少子化により子どもの数が減り、学校や競技によっては人数が足りずにチームが組めないケースが増えていることから、近隣の学校でひとつのチームを組み一緒に

を公平な目で判断して頂きたいと考えている。候補者が決定した後には、これまでにご応募頂いたアイデアについても可能なものについては活用頂けるよう働きかけていきたい。

答 教育長 3年生が引退した後の新人戦では、部員数が、女子バスケットボール部が4名、サッカー部が6名、野球部員が2名、女子

バレーボール部が6名となりチーム編成ができないため、合同チームによる出場を予定している。部員が少ない部活動については引き続き合同チームにより大会へ出場する予定であるが、可能な限り生徒がやりたい部活動ができるよう取り組んでいきたい。今後、学校及び関係機関と共に具体的な取り組みについて検討を進めていく。(抜粋)



旧和田中学校

練習したりする部活動改革のことであるが、依田窪南部中学校における部活動の現状はどうか。また、町の考えや今後の対策は。

練習したりする部活動改革のことであるが、依田窪南部中学校における部活動の現状はどうか。また、町の考えや今後の対策は。

練習したりする部活動改革のことであるが、依田窪南部中学校における部活動の現状はどうか。また、町の考えや今後の対策は。



スポーツ庁「デポルターレ」



渡辺 久人
議員

「住民自治基本条例」の評価方法・結果と今後の対応は

「住民自治基本条例」の評価方法は 住民集会は未実施、策定時の委員は充て職

問 「住民自治基本条例」の検証等は「住民集会を開催し、社会情勢との適合性を検討する」と規定されているが、それが行ったのか。

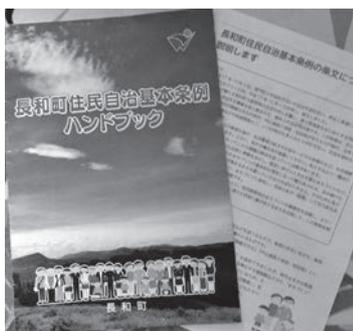
答 町長 先ず庁内で検討して、各課で行っている取組に対する評価を行った。社会情勢との適合性についても検証を行い、条文改正等の必要性も確認した。住民集会は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み実施できなかつたため、パブリックコメントにより意見募集をしたが、寄せられた意見は皆無であった。

問 この条例は検討委員会を設け2年もの歳月を費やし策定されている。当時の委員の皆さん、ワークショップ

の参加者など策定に係わった方に評価して頂くという考えはなかつたのか。

答 企画財政課長 策定に係わって頂いた皆さまは、その多くの方が当時の役割による充て職で委員をお願いしており、その様な考えはなかつた。

問 「with感染症、with災害」と言った社会情勢で、住民の役割、町・関係機関との協力など、危機管理に関する



「住民自治基本条例」冊子

る条項、文化・芸術、スポーツ、生涯学習に関する条項の追加も必要ではないか。

答 町長 長和町には、「長和町地域防災計画」、「長和町

教育大綱」、「長和町子ども子育て支援計画」など各施策に応じた計画があり、これらの中に方針や具体策が示されている。

「景観担当係」設置の主たる目的は

「景観計画」策定と「景観条例」制定をする

問 町民福祉課内に景観担当係が設置されたが、「景観担当係」の仕事と目的は。

答 町長 長和町においても良好な景観を守り、より主体的な景観づくりを推進するため、また、町内で太陽光発電施設の建設が増えたことや風力発電関連施設の問題等で、良好な景観が損なわれる懸念が増していることから、景観行政団体へ

の移行を目的に、それに必要な業務を行うため担当係を設置した。

問 長和町においても、「太陽光発電設備の設置及び維持管理に関する条例」の制定が喫緊と考えるが、町長の見解は。

答 町長 「景観行政団体」への移行、「景観計画」策定にあたり、住民アンケートによる意識調査や地区にお

るワークショップ開催等を計画しており、長和町景観条例の制定に併せ条例の必要性も含め検討していく。

太陽光発電設備は、脱炭素社会を目指す上でも重要な役割を担うものと考えており、安心して推進できる設備の設置・維持管理などを考慮しなければならぬと認識している。（抜粋）



太陽光発電パネル



長和町ホームページ



龍野 一幸
議員

町民が分かり易いインフォメーションについて

補助金や助成金等、町民に分かり易く

ホームページ全体の更新を協議している

問 当時のホームページは、町民が活用できる補助金・助成金や融資制度について検索しづらく、更新の必要性を感じるが、見解は。

答 **情報広報課長** 現在のトップページになってから年数も経過し改修の必要は感じている。トップページを含め「チャットボット」と

呼ばれる「AI」を活用した支援ツールを導入し、町の情報を必要とする人に扱いやすく見やすくしていきたい。

問 社会福祉協議会の活動情報も町ホームページから

リンクできないか。
答 **情報広報課長** 社会福祉協議会の活動は、地域福祉向上にとって必要不可欠である。社協に確認し、ホームページにバナーを貼って対応する。

空き家対策に長和風クラインガルテンは行政一体での事業展開が必要と認識する

問 遊休荒廃地と空き家を利活用した長和風クラインガルテンは有効であると考え

ガルテンも含め空き家や遊休荒廃地解消には各部署連携し、縦割りではなく行政一体となった事業展開が必要であると認識している。

答 **町長** 当町では10年以上前に計画し頓挫したままであるが、更に有効な事業等を模索し遊休荒廃地解消に取り組む。

答 **産業振興課長** クライン

答 **企画財政課長** 基礎デー

々を作成し、空き家等対策計画の見直しを行う予定である。他の利活用について

は、まずは空き家バンク制度の充実化と登録促進に鋭意取り組んで行く。

人口減少に伴い、職員数はどう考えるか

人口の増減により職員数も対応していく

問 人口が4000人台に減少する10年後には行政の業

務内容の複雑化も予想されるが、職員の新人採用や定年延長などを町はどう考えているか。

答 **総務課長** 10年後には定年延長や委託業務の在り方、地方自治体が直接担う業務範囲の縮小、人口減少などの事象によって職員数も対応していくものと思われる。しかし、住民サービスの低下を招かないよう民間委託等に代替する方向で考えている。
(抜粋)



役場庁舎業務のようす



羽田 公夫
議員

安心・安全な町づくりについて

細尾団地の環境改善への手立ては

私有林だが、同意を得て補助事業等を検討したい

問 住民の不安解消に、条例の改正や各種の補助事業等の活用はできないか。

答 町長 今回の件については森林法の規定により許可されており、伐採後の造林は「天然更新」の手法を選択している。山林所有者の権利の侵害や妨害にならぬよう、慎重に検討する必要がある。しかし、現状が住民の不安を抱かせる状況にあると考えるので、所有者の同意を得られれば、県の補助事業や森林環境譲与税を活用し、広葉樹を植栽するなど検討していきたい。

問 町内の山と住宅が隣接している場所においては「急傾斜地崩壊危険区域」に指定し、コンクリート壁を築

いてきたが、その可能性はどうか。

答 町長 「急傾斜地崩壊危険区域」に関する法律もあるので、県に対し対策工事に向けて、強く要望していきたい。

答 建設水道課長 現在、上田建設事務所では、危険区域の指定及び対策工事に向

けて必要な測量調査などの作業を進めているので、細

尾団地についても強く要望していく。

農耕車が下和田バイパス歩道を通行できないか 建設時の経緯を踏まえ、協議を進める

問 下和田バイパスの歩道を

農作業中の軽トラック等が通行する際、違反切符を切られる事例について、町で

はどう捉えているか。

答 町長 下和田バイパスの歩道について、現在の道路構造では道路法上の「歩道」に位置付けられる。よって、農耕車両でもこの歩道を通行できない。しかしながら交通量の多い車道へ低速の農耕車が走行する際に、安全性への確保が必要と思われるため、バイパス建設時の経緯等も踏まえ、道路管理者である上田建設事務所と協議を進めている。

問 和田宿ステーションの道

の駅화에合わせ、北側の空き地を「車中泊」専用の駐車場にしようか。

答 産業振興課長 「道の駅」化に向けた空き地の利用については、係でも考えている。駐車場として増設するか、パーベキューができる場所にするか、ドックランにするかなど検討しているところである。
(抜粋)



細尾団地東側の山林伐採



下和田バイパスの歩道に止まる



荻野 友一
議員

町におけるGIGAスクールについて

ICT機器の活用による教育の展望は

多様な学びの機会を保証し、活用していく

問 GIGAスクール構想への町の取り組みの概要はどのようなか。

答 町長 GIGAスクール構想とは、児童・生徒に1人1台の端末と高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組みで、当町では令和3年3月にタブレット端末及び校内通信ネットワークの整備が完了した。GIGAスクール構想の展望をどう考えているか。

ケーション能力の向上が期待でき、障害のある児童やコミュニケーションが苦手な児童も一緒に学ぶ共生社会の実現を目的としたインクルーシブ教育にも有効であると考えます。

問 ICT機器の利用について

児童の反応はどうか。
答 教育課長 簡単な操作で利用できるもので、学習が楽しいと聞いている。調べ学習を休み時間等を利用して自主的に学習している児童もあり、学習意欲の向上が見られる。

和田小学校で始まった複式学級は

少人数では2学年で1つの学級となる

問 和田小学校で複式学級が始まった経緯は。

答 教育課長 和田小学校の今年度の入学児童は3名で、2年生3名と合わせて6名となる。県の基準では、隣り合う学年の人数の合計が8名以下の場合に複式学級となり、今年度より1、2

年生が複式学級になった。
問 長門小と和田小では、児童数の違いにより教育環境が異なる中での教育現場となるが、このことをどう捉えているか。

答 教育課長 児童数の違いはあるが、教育格差はないと考える。

問 長門小と和田小とともに利用した長和小学校としての教育を考えることはできないか。

答 教育課長 学校配置は、児童の教育条件を良くすることとにより、地域コミュニティの核としての性格や地域の事情等について十分配慮し、判断したい。

長和町温泉施設の活性化策は

振興公社と協働して検討する

問 2つの温泉施設はコロナ禍で売り上げが減少し、振興公社の運営にも影響が出てきているが、現状をどう考えているか。

答 町長 自然の恵みである温泉を活用して、地域の皆様が豊かさやゆとりを実感できる個性豊かな地域づくりを促進するため、引き続き2つの温泉施設を活用していくが、施設の経営は企

業努力のみでは厳しいことが予想される。
問 運営状況改善のため、料金改定以外に考えられる施策や計画は、公社より提示されているか。

答 産業振興課長 具体的に利益を上げるための施策や計画は提示されていない。今後、振興公社と協働して検討していく。(抜粋)



佐藤 恵一
議員

気候非常事態宣言&脱炭素型社会へ向けた町の取り組み

自治体が主体となる再エネの取り組みは 組織体制を構築する中で検討していく

問 県が行った気候非常事態宣言(2019年)を受け、

当町は持続可能な脱炭素社会をつくるためどのように取り組んでいくのか。

答 町長 今後、将来世代の生命を守るため、気候非常事態宣言をするとともに、県の地球温暖化対策及び環境エネルギー施策を推進するための計画「長野県ゼロカーボン戦略のポイント」について、町としても検討、実施に向けて対応を行っていく必要があると思っています。

問 再生可能エネルギーの設備については多額の初期コストが必要となるが、予算措置がある「脱炭素先行地域」への応募を行う意向は

ないか。

答 町長 現状、これから体制を構築し対応しなければならぬと考えている。また、環境問題、脱炭素社会への対応等については、今後の長和町のまちづくりの方向性を定めていくものであると考えると、まずは庁内の組織体制の構築を検討し、自治体の再エネルギー設備、基盤インフラ整備、省CO₂等の設備の導入支援などを含め、財源確保面からも「脱炭素先行地域」への応募等についても検討しなければならないと思っている。

問 脱炭素社会の実現のための2030年という目標を持ちながら、どのように

展開していくかの具体的な計画案を「再生可能エネルギーの取り組み」として示して頂きたい。

答 町長 さまざまな再生可能エネルギー施設が稼働して、そのエネルギーを公共施設や学校等で利用することにより、町の財源(税金)を他に回すことで、地域住民の生活の質の向上に繋がっているのではないかとこの質問で

ある。公共施設等で再生可能エネルギーを利用し、省エネ対策を採ることで、公共施設の電気代等の経費を削減でき、財源を他に回すことは確かに想定できる。

そのためにも、環境問題、脱炭素社会への対応等について、今後の長和町のまちづくりの方向性を定めていくものであると考えると、庁内の組織体制の構築をす



長門牧場太陽光発電 (航空写真)

★ 語句解説 ★

問 脱炭素先行地域とは。

答 自治体や企業・金融機関が中心となり、国の支援を受け、脱炭素に向かう先行的な取組実施の道筋をつけ実行する地域。地域課題を解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示す。

る中で検討していくべきと考える。また、地方公共団体に策定が義務付けられている「事務事業編」の策定を今後進める中で、どのような再生可能エネルギーに取組むべきかを検討し、計画を示していきたい。(抜粋)

依田窪医療福祉 事務組合議会報告

6月30日(木)に、依田窪医療福祉事務組合議会令和4年6月第1回臨時会が開催されました。4月25日に上田市議会議員が改選されたことに伴い、事務組合議会議員が新たに選出され、副議長選挙が行われました。

■副議長選挙 指名推選により、上田市議会の松尾卓議員が当選しました。

■令和3年度依田窪病院事業会計予算繰越計算書の報告 電子カルテ医療支援システム・多目的X線テレビ装置・管理診察棟配水管の更新事業の繰越が承認されました。

問 今後の事業進捗の見通しは。
答 X線テレビ、給排水管工新事業については、6月30日現在竣工している。電子カルテ更新事業は年内完了を予定する。

問 企業債は全額借入できると思うが、他会計負担金がついている理由は。
答 他会計負担金の440万円は

国の補助金を長和町を通じていただく予定で、残り分に企業債を充てたいと考えている。

問 電子カルテについて、更新のサイクルはあるのか。

答 和田診療所の電子カルテ化事業は令和3年度に実施した。更新は本院の更新時期と同じであり、8年から10年を予定している。

(報告：阿部由紀子議員)

上田市長和町中学 校組合議会報告

6月30日(木)に、中学校校組合議会令和4年6月第1回臨時会が開催されました。4月25日に上田市議会議員が改選されたことに伴い、中学校校組合議会議員が新たに選出され、議長、副議長、監査委員が選任されました。

■議長選挙 指名推選により、上田市議会の石合祐太議員が当選しました。任期は2年です。

■副議長選挙 指名推選により、長和町議会の田福光規議員が当選しました。

■監査委員 東方久男氏を代表監査委員にすることが、全員賛成で

承認されました。

(報告：田福光規議員)

上田地域広域連合 議会報告

令和4年5月24日(火)の上田地域広域連合議会5月臨時会が開催されました。上田市議会議員の改選に伴い、上田市議会より新たに13名の広域議会議員が選出され、議長選挙が行われました。

■議長選挙 指名推選により、上田市議会の佐藤論征議長が当選しました。

■人事 監査委員に上田市の手塚明氏と議会から西沢逸郎議員が、公平委員には長和町の金山睦夫氏が選任されました。

■議案 上田中央、丸子、東御消防署に、それぞれ1台の高規格救急自動車を購入する。契約金額は1億857万円。

その他、専決処分した補正予算の承認、繰越明許費繰越計算書の報告があり、すべて全員賛成で可決・承認されました。

(報告：渡辺久人議員)

★ 語句解説 ★

問 広域連合議会、組合議会の選挙は指名推薦ですが…。

答 地方自治法に、議会における選挙の方法は投票によるか、指名推薦によることできると規定されています。議会前に話し合いを行い、議員全員に異議がなければ、指名者が指名して当選人を決定します。

問 P.7の意見書って何？

答 議会は、国会または行政庁に対して、町村の公益に関する事柄について意見書を提出する権限があります。提出の発議は議員または委員会が行います。

意見書の提出は、議会が、住民世論の動きを捉えてその実現を目指した、法律に根拠を持った政策活動の一つです。

今回の意見書は、田福社会文教常任委員長が提案者、原田総務経済常任委員長が賛成者になり、全員賛成で可決しました。意見書は、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・内閣官房長官あてに、森田議長名で提出します。



「星くそ館」前で、委員会ごとに遺跡の説明を受ける

青木村議会と 議員研修会を 開催しました

6月23日(木)長和町鷹山「黒耀石体験ミュージアム」において、青木村長和町議会議員研修会を3年ぶりに開催しました。青木村議会議員10名と長和町議会議員9名が出席し、「星くそ館」の見学や黒耀石グッズの作成などを行いました。

黒耀石鉱山展示室「星くそ館」の視察では、大竹文化財担当課長から日本遺産となった黒耀石原産地鷹山遺跡群の成り立ちと、鉱山の地下の様子をそのまま保存した展示について説明を受けました。

「黒耀石体験ミュージアム」では、展示を見学した後、ミュージアム職員の指導により黒耀石の原石から、骨角器を模した道具を使って、グッズの制作をしました。両町村の議員が縄文文化に思いを馳せながら語り合いました。

その後、長和町の「歴史遺産を活かした国際交

流」について説明を受け、独自の教育と文化、産業との関わりについても話題になりました。最後に、長和町議会のICT推進計画について、渡辺副議長より説明がありました。

コロナ禍が残る中での議員研修会でしたので、議論を深めるまでには至りませんでした。交流を温める会になったと思います。

(報告：荻野友一議員)

総務経済常任 委員会マルシ エ黒耀を視察



「マルシエ黒耀」店内を説明を受けながら視察

り人が流れている」ということでした。

マルシエ黒耀では、昨年度の売り上げが2億円に達し、近隣の農産物直売所を上回るようになってきたそうです。マルシエ黒耀は農産物直売所というより、何でも売っているドライブイン売店のな展開をしており、地物のタケノコや野菜類なども有りましたがもっと増えればと思います。

総務経済常任委員会は6月9日(木)、常任委員会終了後、マルシエ黒耀を視察しました。

最初に、町から農産物直売所運営の指定管理を任されている(株)マルメロエイトの中原専務からオープン2年目の運営状況や今後の課題をお聞きしました。「お客さんは引っぱり無しに来ている。新和トンネルの無料化とコロナ感染者の減少傾向、さらに御柱祭や善光寺御開帳などの要因によ

町内の方とのことで、しっかり根付いて来ているように感じました。その要因として町で発行したプレミアム商品券やいきいき券の利用が、1番がコンビニで2番がマルシエ黒耀だということ。従業員の雇用も広がっていかば、住民の働き場になると思います。ますます住民の為になる道の駅となることを期待します。

(報告：原田恵石委員長)

森田議長の議会概説(6)

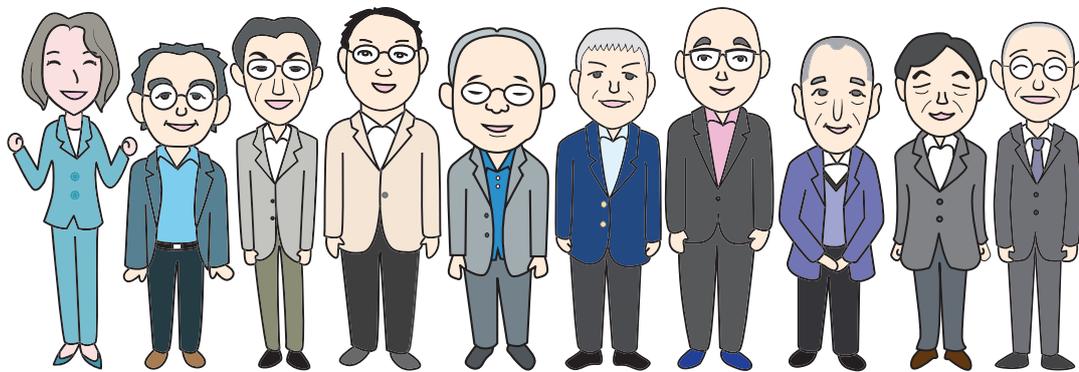
● ようやく会議や研修が対面で行えるようになったのですが、コロナ禍の第7波が襲来。町民の皆さんの懇談会の開催方法を研究します。

問 「一般質問って何？」②

答 長和町議会では、一般質問を行う議員は、質問事項と詳しい内容について記した質問通告書を、定例会開会日のおよそ10日前に開かれる議会運営委員会の開催前日の正午までに提出しなければなりません。これを通告と言います。内容は議会運営委員会で審査し、行政に送付します。

問 「常任委員会は何をする？」②

答 常任委員会は、議会に提出された議案の多くを、本会議に先立って詳しく審査して、可決すべきか否か等の審査結果を委員会審査での質疑や答弁の内容も含め、本会議に報告(委員長報告)します。これを委員会付託と言います。議案の細かな点にも踏み込んで質疑が行われます。本会議では、これをもとに、議案に対する賛否を問い議決します。委員会も原則公開です。



■ 私たちは誰でしょっ？ 私たちが町の諸課題に取り組み、議論し、お知らせします。乞うご期待！

★表紙写真の説明★

〈不動滝(大門・大茂沢)〉

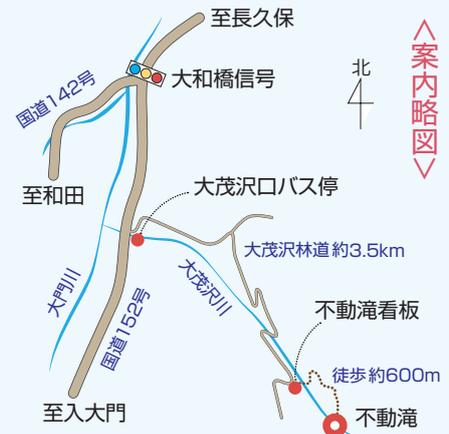
蓼科山北西麓を流れ下る大茂沢川の上流に位置する落差7mほどの滝です。滝壺の近くに小さな石造の不動明王が祀られて「不動滝」と呼ばれるようになりました。また、この滝で「役行者」が修行したとも伝えられています。「行者の滝」とも呼ばれています。周囲の切り立った岩場や樹木とも四季折々の素晴らしい情景を見ることができ、ことに厳寒に結氷した滝の姿は見事です。



木とも四季折々の素晴らしい

国道152号を大門宮ノ上の大茂沢口バス停から東に入り、大茂沢川に沿って狭い林道を3.5kmほど進むと「不動滝」の看板があります。左の小さな橋を渡った所に数台分の駐車場があり、山道を約600m歩いた先に不動滝が見えます。滝の前には東屋があります。

〈案内略図〉



■訂正 前号、議会だより第66号11ページに誤りがありました。審議結果で、◇…予算案の年号が「平成」になっていました。「令和」の誤りです。お詫びして訂正します。

■マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会だよりを見ることができま



長和町 あの人を訪ねて

— 第13回 —



かつみ さちえ
勝見 幸枝 さん
(堂前)

略歴・活動

1933年生まれ。わかば保育園の調理員を退職した後、織物を始める。絹、紙布織などで様々な作品を創り、発表している。「かつみ工房」主宰。

広報常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 「かつみ工房」を始められたきっかけは。

答 定年退職後、退職金で憧れだった機械織り機を購入したことが始まりです。町の協力を得て天蚕を飼い始めました。天蚕は畑にクヌギを植え、自然な状態で育てます。家蚕よりも繊細で糸は少ししか取れませんが、なんともしえない美しい緑色の糸が出来上がります。黒耀石のふるさと親善大使であるシンガーソングライター葦木啓夏さんが着ている緑のドレスも、かつみ工房の天蚕作品です。ご覧にな

った方もいらつしやるのでは。

また、同時に、300年の歴史を持つ立岩和紙を生かそうと「紙布織」を始めました。一年半勤めた「和紙の里」で、和紙を愛する方々とのご縁があったことがきっかけです。「紙布織」とは和紙を細く切り、撚りをかけて糸にしたものを緯糸に、絹や木綿などを経糸に織っていく織物で、バックや小物、洋服などに加工します。どちらも手間と時間がかかりますが、好きなことなので夢中で続けてきました。主人を亡くし、天蚕は続けられ

なくなりしましたが、「紙布織」に向き合うことで悲しみを乗り越えることができました。

問 「長和町のお母さんのような方」だと伺ったことがあります。

答 わかば保育園で15年間、給食を作る仕事をしてきました。ふれあい館「のびっこクラブ」では、お母さん方に、お子さんが学校で使う小物の縫い方を教え、長門・和田小学校へは、紙布織のコースター作りを教えに行きました。また、小学校の家庭科の授業では、先生のお手伝いで、ミシンの指導なども。

今でも続けている「手づくりの会」では、町のお祭りの衣装などを縫うこともあります。子どもの感性の自由さ、豊かさには、感心させられ、刺激を受けることがいっぱい。たくさんの子どもたち、若い方たちと触れ合えることは幸せな体験です。

問 これからの長和町に望むことは。

答 伝統ある和紙を絶やすことなく守ってほしいと思います。「紙布織」の技術が続いていくことを願っています。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第67号は、**田福光規** 議員です。

▼ 昨年の12月議会から、新しい議員が加わり、一般質問を行う議員が大幅に増えて8名になりました。町民の皆さんから、議会が活発になつたとの声をお聞きしています。▼ 質問する議員が増えたため、通告前に一般質問を予定している議員での事前打ち合わせ会議を開催しました。▼ 6月議会では、「二酸化炭素排出ゼロ」のテーマを佐藤議員と私を取り上げる予定だったため、2人で相談し、私が総論を中心に、佐藤議員が具体的な課題を問うことにしました。▼ 今後も議員であったと思います。▼ 今後も議員皆で協力し合い、町民の声を町政に反映できるよう頑張っていきたいと思います。

ながわまち 議会だより

広報常任委員会

- 委員長 佐藤 恵一
- 委員 阿部由紀子
- 田福 光規
- 原田 恵召
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp